

対話型オリエンテーション <概要>

日時：2026 年 6 月 17 日（水）19:00～21:00

場所：オンライン（Zoom）

対象者：ベトナム人

日本で働き、小さな子どものいる家庭や妊娠中の方

在留資格「技術・人文知識・国際業務」、「家族滞在」など

内容：第 1 部：安心して子育てするための日本の医療について

第 2 部：体験談と対話セッション（2 回実施）

<第 1 部で話された主な内容>

知っておくと役立つ医療情報の紹介

- ・子育て世代が「かかりつけ医」を持つ 3 つのメリット

(<https://kakarikata.mhlw.go.jp/kakaritsuke/motou.html>)

- ・「子ども医療電話相談事業」、通称「＃8000（シャープはっせん）」

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_55223.html)

- ・「母子健康手帳情報支援サイト」

(<https://mchbook.cfa.go.jp/>)

- ・女性の健康のための情報

(<https://w-health.jp>)

<第 2 部で話された主な内容>

- ・医療機関の受診・コミュニケーション

受診前の準備や予約の重要性、症状を正確に伝えるための方法を共有。

翻訳アプリや AI ツールを活用した医師とのコミュニケーションについて紹介。

- ・子どもの急な体調不良への対応

発熱時の家庭での対応や準備しておく物品について情報共有。

自宅周辺の医療機関を事前に調べておくことについて意見交換。

- ・医療機関・相談先の探し方

平日・休日・夜間に利用できる医療機関の検索方法を紹介。

地域の情報誌、行政の案内、外国人向け医療情報サイトなどの活用方法を共有。

- ・参加者同士の体験・情報共有

日本の医療機関を利用した経験や、言語面で感じた不安・工夫についての意見交換。

子育て経験も交えながら、具体的な医療・子育て情報の共有。

<ベトナム対話型オリエンテーションQ&A>

Q 1 日本で病院を受診するとき、事前に準備しておくといひことはありますか？

A 健康保険証（マイナ保険証を含む）、母子健康手帳、アレルギーなどの健康情報を準備しておきましょう。

また、「いつから」「どのような症状があるか」「熱がある場合は何度だったか」「自宅でどのような対応をしたか」などを事前に記録しておく、医師に症状を正確に伝えやすくなります。

医療機関によっては予約が必要な場合もあるため、受診前に確認しましょう。

Q 2 子どもが急に熱を出したとき、家庭ではどのように対応すればよいですか？

A まずは子どもの様子をよく観察し、水分補給などを行いながら、発熱した時期や体温、その他の症状、家庭で行った対応などを記録しておきましょう。また、急な受診に備えて、自宅近くの医療機関をあらかじめ複数確認しておく、と安心です。平日の日中だけでなく、休日や夜間に受診できる医療機関についても、あらかじめ調べておきましょう。

また、受診の必要性やタイミングに迷った場合は、地域の相談窓口や小児救急電話相談（＃8000）などを活用しましょう。

Q 3 日本の医療について分からないことや不安なことがある場合、どうすればよいですか？

A 日本の医療制度や受診方法は、母国と異なる場合があります。予防接種、子どもの医療費助成、救急時の対応、保険の適用など、分からないことがあれば、自治体や医療機関などに確認しましょう。